

岩見沢東ロータリークラブ創立40周年記念式典・祝賀会開催

40周年実行委員長 伊澤 珠樹

4月18日（火）17時より、岩見沢平安閣において、当クラブ創立40周年の記念式典及び祝賀会を開催致しました。当クラブは昭和58年に岩見沢ロータリークラブをスポンサークラブとして発足したクラブで、この度、無事に40周年を迎えることが出来た次第です。

式典出席者は、石丸修太郎ガバナー、嵯峨義輝パストガバナーほかご来賓5名、元会員5名、元米山奨学生1名、現会員11名、事務局職員1名、計23名でございました。

式典が始まり、歌唱したロータリーソングは「ありがとうは私から」という楽曲でしたが、これは、当クラブOBの堀昭良（ホリアキヨシ）氏が作詞されたものです。

藤田会長の歓迎の言葉に続き、松野哲（サトル）岩見沢市長、及び、石丸ガバナーから親しみの込めたご挨拶をいただき、また、スポンサークラブである岩見沢クラブへ「感謝の盾」をお贈りしたときには、西方洋昭会長から大変ご丁寧なお言葉をいただきました。

永年表彰の方々への記念品贈呈に続き、現会員で最もロータリー歴の古い細谷会員が「岩見沢東ロータリークラブの歩み」と題した記念卓話を行って、式典を終了致しました。

続いての祝賀会は、嵯峨パストガバナーの乾杯の音頭で始まり、和やかな祝宴となりましたが、その中で、藤田会長が作製した記念DVDが映写され、そこには創立から現在までの古い写真のほかに、現会員一人一言の動画も収められており、後日、見返すたびに、懐かしく省みることができるのではないかと思います。

最後に、輪になっての「手に手つないで」の後、松下早苗ガバナー補佐の三三七拍子で、祝賀会を賑やかに終えることができました。

式典司会の小倉会員はいつものように歯切れ良く、祝賀会司会の長田会員はいつものようにユーモア溢れ、また、小泉事務員はお洒落な「しおり」を作成、元米山奨学生のカヌンさんはご来賓にリボンをつけてくれるなど会員並みのお手伝いをし、また、ほかのメンバーもそれぞれ自分の役割を果たすなど、当クラブの一致団結力が十分に発揮された催しだったのではないかと考えています。

日頃、親しくお付き合いしている第3グループの会員の方々をお招きできなかったことは心残りですが、この40周年を節目として、当クラブ再出発の契機としたいと思います。

また、石丸ガバナー、嵯峨パストガバナー、西方会長には、打ち上げの二次会にもご参加いただき、大変光栄に感じております。

ご来賓の方々、また、スポンサークラブである岩見沢クラブ、及び、第3グループの各クラブの方々など皆様方に、厚く御礼を申し上げる次第です。

